

事業所における自己評価結果(公表)

児童発達支援

討議年月日:令和 3 年 12 月 1 日

公表 令和 4 年 1 月 13 日

事業所名 児童発達支援・放課後デイサービスLove&smile

		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○	活動内容に合わせ、アコーディオンカーテンを利用し部屋分けなど対応している。		
	2	職員の配置数は適切である		○	子供達の人数に合わせ職員配置をしています。	より良い療育を目指すため保育士を募集しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○	活動に合わせた環境作りをしています。視覚的にわかりやすいようにしています。玄関前にスロープがあります	玄関前にスロープはありますが室内は狭く車いすでの移動は難しいと思います。その都度配慮していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○	清潔を保ち感染予防の為にアルコール消毒、喚起を心がけています。		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○	業務改善に日々職員と会議し共有しています。		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○	保護者からの評価を基に日々改善できるよう掛けています。		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○	年に一回ホームページにて公開しています。		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者委員会の設置には至っていません。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○	児童発達管理責任者研修を受けることができました。	なかなか研修に参加できないことがありますが研修の機会を確保できるよう職員配置など考えていきます。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○	日々の活動・ニーズを基に計画案を作成しています。		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	アセスメントツールを使用し、子どもの状況を把握しています。		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	支援計画の内容を把握し個々の児童に合わせて個別・集団の必要性を配慮し支援内容で確認しています。		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	立案は児童のリーダーが決める職員で共有しています。		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	日々工夫して取り組んでいます。		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	個々の合わせ目標に添った支援計画になるよう作成しています。		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	その日の振り返りや気づいた点、送迎終了までの様子を話しあひ次の日に備えています。		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	日々の記録をリタリコに入力しています。		
	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	定期的に相談支援員が訪問し様子の報告。その時に応じた相談をしながらモニタリングを行い見直しをしています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議には、管理者、児発管児発リーダーが参加できる様配慮しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	対象利用者はいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	対象利用者はいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		幼稚園・保育園・幼稚園との情報共有などを行いながら支援を進めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	現在移行する利用児がいまいに行っていない。	今後、情報共有していく予定はありません。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		現在行っていませんが今後連携していきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在機会がなく今後あればよいと思う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳、電話、LINEなどで日頃の様子を伝え発達や成長を共有しています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		職員と児童発達管理責任者と日々の活動の様子やニーズを分析し計画を作成しています。目標の達成や課題を保護者と共有し療育を進めています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳の記載内容や直接相談があれば相談があれば聞いています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在行っていません。	保護者の方の仕事状況などみてもし、保護者に希望があれば取り組んでいきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○	マニュアルを整備し対応に備えています。管理者は研修を受けました。	職員への状況確認・保護者へのは敏速に経緯を説明するよう関わった職員が速やかに保護者の不満・不安を解消するよう努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月おたよりやホームページで子供たちの様子や行事など発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵を閉め棚に厳重に管理しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言葉だけでなく絵カード手話で伝え言葉づかいや関係機関との連携がスムーズに	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在行える行事がありません。今後できるよう考えていきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	育室に分かりやすい場所に掲示。防犯カメラも各部屋についています。	保護者へ避難経路・緊急時対応マニュアルを配布する予定。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年間計画をたて状況に合わせた避難訓練を年4回実施しています。今年度終了しました。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	薬の服用がある時には、同意書・処方箋を提出してもらいます。担当職員の印をし確実に服用したことを書面で保護者へお伝えしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	現在対象の利用はいません。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		今後作成し、事例検討会など行います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	防犯カメラの設置。虐待防止の意識を高めるため事業所内研修をしました。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	児童発達管理責任者研修で研修し支援計画に記載あり。暴れたり、自傷行員などある場合は職員がおさえることもありませんが安全に配慮しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。